

参加支援事業の実施	未実施	未実施	実施					実施	令和6年度より重層的支援体制整備事業をスタートさせ、参加支援事業も実施している。今後実績を作るための取組が必要となる。	福祉課
-----------	-----	-----	----	--	--	--	--	----	---	-----

事業		取組内容及び成果		課題及び今後の方向性	
●参加支援事業	福祉課、長寿介護課、こども家庭課、社会福祉協議会	令和6年度より重層的支援体制整備事業をスタートさせ、参加支援事業として実施した。 地域アセスメントのため人口や社会資源の情報を整理し、また地域つながり講演会を開催し、地域つながりづくり会議の実施に向けた準備を行った。 社会とのつながりを求める相談者にはあみーご、高齢者サロン等の案内をしている。 ファミリー・サポート・センター事業やホームスタート事業の周知を行い、ボランティア活動への参加をうながした。 生活支援コーディネーターがサロンや地域ケア会議などに参加し、必要な地域資源の把握に努めた。	今後は、市民活動団体、生涯学習サークル等を地域の資源として活用する方法を検討していく。 また、引き続き、ファミリー・サポート・センター事業やホームスタート事業の周知を行い、ボランティア活動への参加をうながしていく。 地域アセスメントをもとに、地域で活動する団体同士のつながりの場となる地域つながりカフェを実施する。		
●その他					

単位施策:29 地域づくりに関する方向性

・様々な地域単位で「地域つながりづくり会議」を開催し、活動者同士の情報交換を通じて地域福祉の意識づくり、人材育成、団体活動の活性化を図ります。段階的に、地域ケア会議等の他の会議体や組織等とも連携しながら、住民主体の地域福祉活動を促進するためのプラットフォームとしての機能を強化していきます。【P47「地域づくり支援・参加支援」の再掲】

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
「地域つながりづくり会議」の実施	未実施	未実施	未実施					実施	地域つながりづくり会議のキックオフフォーラムとして地域つながり講演会を実施した。	社会福祉協議会 福祉課

事業		取組内容及び成果		課題及び今後の方向性	
●地域づくり事業	福祉課、長寿介護課、こども家庭課、社会福祉協議会	地域つながりづくり会議の開催へとつなげるため、令和7年度から地域つながりカフェを実施することとし、地域つながり講演会で周知した。また、自立支援型の地域ケア会議を開催し、多職種との情報共有に努めた。	地域アセスメントをもとに地域つながりづくり会議を実施する。 また、他の会議体等との連携について研究していく必要がある。		
●その他					

単位施策:30 アウトリーチ等を通じた継続的支援に関する方向性

・8050 問題、ヤングケアラー、ひきこもり等の多様で複合的な課題や制度の狭間の問題を抱える人等で、支援が届いていない人や自ら支援を求められない人等を早期に発見し、適切な支援につなげるため、伴走型支援やアウトリーチ型の訪問支援等、きめ細かな支援のあり方について検討を進めます。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	担当
	R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施	未実施	未実施	実施					実施	令和6年度より重層的支援体制整備事業をスタートさせ、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業も実施しひきこもり家庭の訪問を中心に支援を行っている。	福祉課

事業	取組内容及び成果	課題及び今後の方向性
<p>●アウトリーチ等を通じた継続的支援事業</p> <p>福祉課、長寿介護課、健康課、子育て支援課、社会福祉協議会</p>	<p>家族等からの希望がある場合や緊急性があると認められるケースでアウトリーチ型の訪問支援を行っている。</p> <p>また、70歳から75歳までの高齢者夫婦世帯を対象に、地域包括支援センター職員が個別訪問し、生活実態などの把握を行い、適切な支援・関係機関につなげた。</p> <p>なお、市の健診や医療、介護サービスの利用がなく、アンケートに返信のない後期高齢者については、地域包括支援センターと連携し、家庭訪問（アウトリーチ）にて支援した。</p> <p>また、すべての妊婦に個別相談、すべての産婦に家庭訪問を実施することにより、必要な相談に応じ、関係部署等との連携した支援を行った。</p> <p>子ども家庭課としてヤングケアラーの実態把握調査のため学校教育課と協議するなど準備を行った。</p>	<p>本人や世帯が支援を拒否しているケース等アウトリーチ型訪問支援は慎重な対応が必要となるケースも多いため、関係機関と連携して支援方法を検討していく。</p> <p>また、今後も訪問を継続し、支援の必要な人を早期に発見し、適切な支援につなげていく。</p> <p>なお、令和7年度に市内小中学校と連携しヤングケアラーの実態把握調査を行う。</p>

●その他

事務局評価	取組	指標	評価	評価理由
	2	I	A	令和6年度から重層的支援体制整備事業を実施したことに伴い、各施策を実施できた。今後もより良い施策に向けて関係課で協力して検討を進めていく。
推進委員評価	A			推進委員評価 判断理由・コメント
				重層的支援体制整備事業を実施し、包括的な支援を多機関協働により取り組む体制の整備が進められている。地域つながりづくり会議の実施に向けたキックオフの講演会が開催されたので、今後の実施に向けて関係機関と連携して、進めてほしい。